

概要

ヒックリコ、ガックリコ

萩原朔太郎は夜の街を詩人が歩いていく様子を「憔悴するひとのあるく路・夕焼けの路（前橋市民に捧ぐる詩）」という未発表作品の中でこのように記しています。人は別の場所へ向かって歩き、誰かと出会い、誰かへ向けて言葉を投げかけます。また、文字にすることで、言葉は時間や場所を越えた他者とも対峙する手段になります。言葉は「私」とその他の生きる者たちとをつなぐものであり、時代や社会の変化と共にそのあり方も役割も変化するものです。

印刷やインターネット技術の誕生により言葉の性質は大きく変化しました。また、東日本大震災に直面した私たちは言葉による表現の限界を目の当たりにし、言葉を失うことさえも経験しました。私たちが生きることそのことへ疑問を抱いた時、時に叫びとして、また祈りとして、唄として、言葉は新たな形に変換されます。

本展では、文学と美術の表現を「ことば」という切り口からご紹介します。描かれた一つの線が絵や文字となり、そして美術や文学となるように、言葉は常に私たちの生きることのそばに存在しているものです。私たちは「ポスト真実」と呼ばれる危機の時代に直面しています。そのような社会的コンテキストの中で、過去のそして現在の時代の空気を芸術家や詩人たちが、個人の身体感覚を通じてどのように捉え、世界と対峙しているのかをぜひ感じていただきたいと思います。



【図1】鈴木ヒラク《Constellation#01》 2016年
紙にシルバーインクと墨汁、アルミニウムマウント
前澤友作氏蔵 ©Hiraku Suzuki



【図2】新国誠一『新国誠一詩集』 1979年
ASA(芸術研究協会)
うらわ美術館蔵

開催概要

- 【**展覧会名**】 ヒックリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所
- 【**会 期**】 2017年10月20日(金)～2018年1月16日(火) 70日間
※会期中一部展示替えあり
 【前期】：2017年10月20日(金)～11月28日(火)
 【後期】：2017年11月30日(木)～2018年1月16日(火)
- 【**開館時間**】 アーツ前橋 11:00～19:00(入場は18:30まで)
 前橋文学館 9:00～17:00(入場は16:30まで)
- 【**休 館 日**】 水曜日、年末年始(12月28日(木)～1月4日(木))
- 【**会 場**】 アーツ前橋(群馬県前橋市千代田町5-1-16)、前橋文学館(群馬県前橋市千代田町3-12-10)
- 【**観 覧 料**】 共通観覧券 一般 700円 / 学生・65歳以上・団体(10名以上) 350円 / 高校生以下無料
※アーツ前橋1階ギャラリー及び前橋文学館3階オープンギャラリーは無料
※障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料
※以下のいずれかの条件に該当の方は、観覧料が350円
 1)アーツトワイライト割：17時以降にアーツ前橋にご来場された方
 2)文学館早起き割：11時より前に前橋文学館にご来場された方
 3)ヒックリコ ガツクリコ割：ペアでご来場された方
※観覧無料日：10月20日(金)[展覧会初日]、10月28日(土)[群馬県民の日]、
 1月9日(火)[前橋初市まつり]
- 【**主 催**】 アーツ前橋、萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館
- 【**協 力**】 アートラボはしもと
- 【**助 成**】 文化庁 平成29年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
- 【**後 援**】 上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、前橋商工会議所
- 【**参加作家**】 足立智美／荒井良二／浦上秀樹／大澤雅休／大澤竹胎／オノ・ヨーコ／oblaat／
 河口龍夫／河原温／フランチェスコ・カンジュッロ／北園克衛／草野心平／
 ジョン・ケージ／塩見允枝子／クルト・シュヴィッターズ／白石慶子／鈴木ヒラク／
 トゥッリオ・ダルビゾラ／トリスタン・ツァラ／東宮七男／TOLTA／新国誠一／ni_ka／
 萩原恭次郎／萩原朔太郎／福田尚代／文月悠光／ベン・ヴォーティエ／
 ジョージ・マチューナス／Maniackers Design／フィリップ・T. マリネッティ／
 ミヤギフトシ／ムットーニ／山川冬樹／山村暮鳥／横堀艸風

本展の見どころ

1. アーツ前橋と前橋文学館の共同企画展

お互いの施設の特性を生かし、全国的にもめずらしい美術館と文学館の共同企画展です。前橋文学館は、萩原朔太郎や萩原恭次郎などの地域ゆかりの作家からコンクリートポエトリーを始めとする前衛的な活字表現を紹介します。アーツ前橋では、活字に留まらない言葉の特徴として、未来派やフルクサスのような 20 世紀の美術運動から現代作家までを中心に紹介し、人間と言葉の関係や言葉の始原的な役割を考えます。

2. 「ことば」を切り口に現代のメディアについて考える

印刷技術やインターネット、ソーシャルメディアの発展と共に私たちと言葉の関係は大きく変化しました。かつてのマスメディアに代わって個人が一つのメディアとして機能することで、現代社会は「ポスト真実」の時代と評されます。ni_ka や文月悠光のような若い詩人たちは、言葉とメディアの新たな関係を考えます。また、東日本大震災のような未曾有の出来事は、私たちに言葉の限界を感じさせるとともに、表現の可能性を再考させる機会になりました。河口龍夫や山川冬樹は、人間の生の叫びとしての言葉の存在を再認識させるような新作を発表します。

3. 専門的な視点から「ことば」を考える図録

展覧会の記録でありながらも、単に展示内容をなぞる図録ではなく、企画展のテーマについて読み深められる書籍としての図録を発行します。現代の書を牽引する石川九楊や芥川賞候補となった温又柔なども参加します。論考や対談のみならず、参加作家が図録の為に書き下ろした原稿(小説や詩)を収録し、「展覧会を見る」という行為から「図録を読む」という行為までをお楽しみいただきます。

4. 子どもや高校生との協働から生まれる作品

前橋こども図書館は、今年で開館 10 周年を迎えます。こども図書館の壁画を描いた荒井良二を再び前橋に招き、子どもたちと一緒に「萩原朔太郎のオノマトペ」をテーマとしたワークショップを展覧会会期前に開催します。本ワークショップで作られた作品は、会期中アーツ前橋や前橋文学館に展示されます。また、市内に点在する荒井良二の作品やゆかりの場所をまとめた「荒井良二を巡る旅 MAP」を発行し、子どもも楽しみながら「ことば」に触れられるプログラムを用意しています。

5. 街なかを楽しくめぐるプログラム

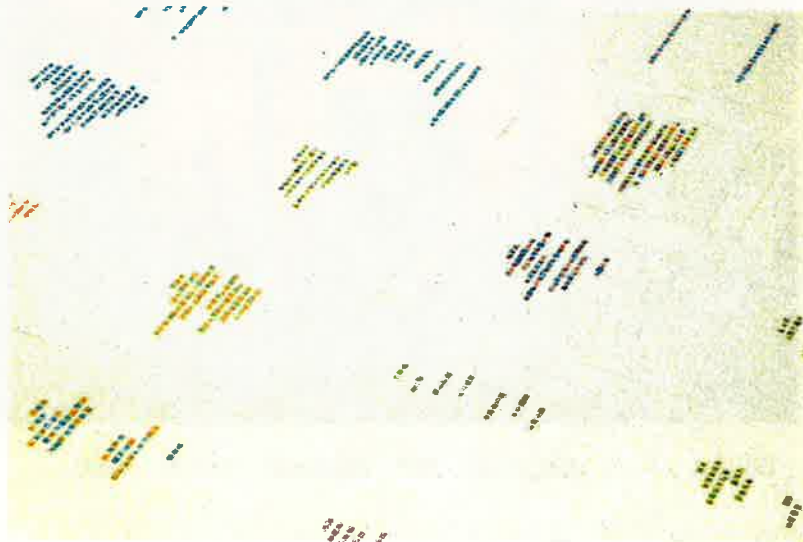
館内の企画展だけでなくアーツ前橋と前橋文学館が立地する「街なか」を楽しめるプログラムを展開します。二つの施設を結ぶ千代田通り沿いには、Maniackers Design によるユニークなフラッグがお披露目されます。また、詩人ユニットの TOLTA は市立前橋高校の生徒たちと一緒に作品を制作しながら、街なかのシャッターや建物の外壁などに作品を展開します。参加者は、街なかを歩きながら TOLTA の投げかける問いに答え、言葉を紡ぎながら、自分だけの詩を作ります。また、アーツ前橋開館前のイベントがきっかけで生まれた「芽部」の主催により、オープンマイクなど、さまざまなことばにまつわるイベントが会期中に行われます。



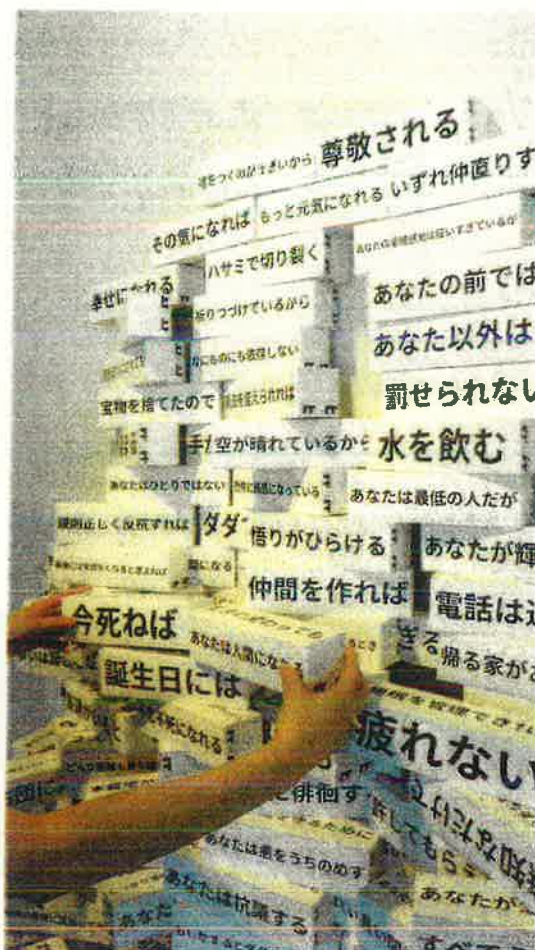
【図3】大澤雅休《がぁんびゃん》 制作年不詳 紙本墨書 高橋朋艸氏蔵 ©Kigure Shinya



【図4】荒井良二と20人の子どもたちによる壁画 2008年 前橋こども図書館 ©Kigure Shinya



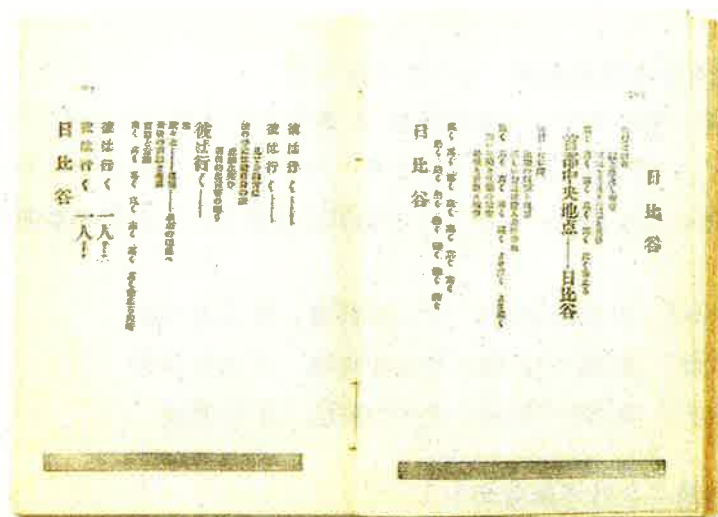
【図5】河口龍夫《失語の詩》 2017年 原稿用紙100枚、鉛筆、水彩 作家蔵 ©Kigure Shinya



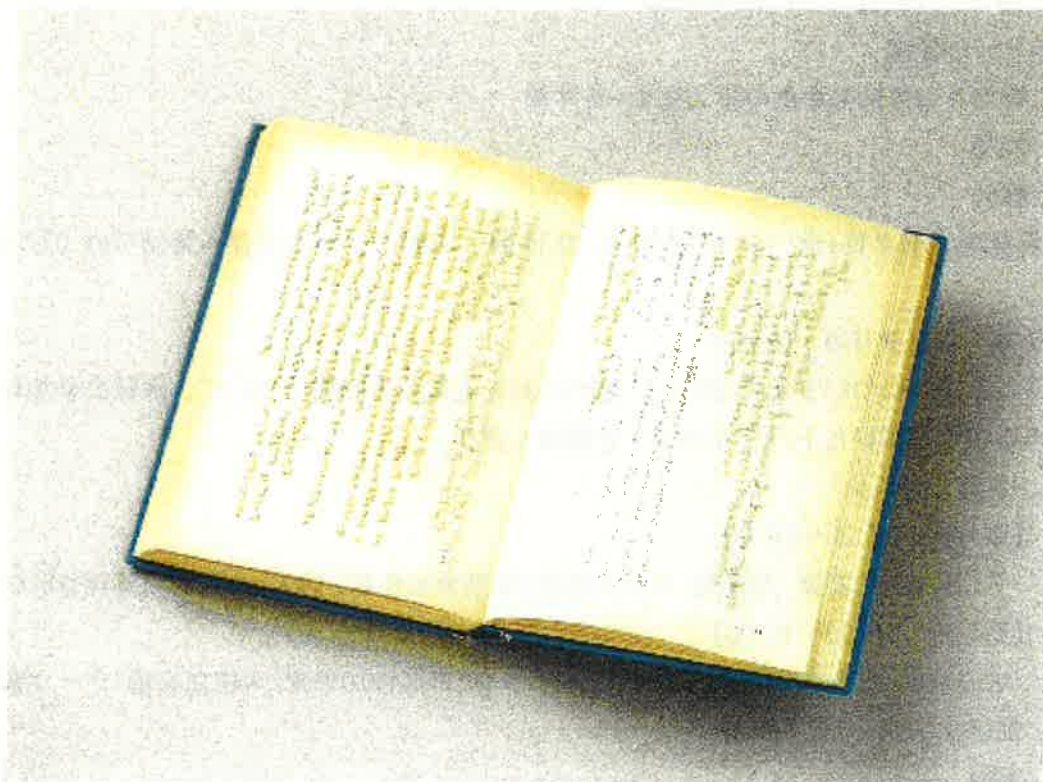
【図6】TOLTA 《dada/ポジティブな呪いのつみき》 2016年



【図7】ムットーニ 《題のない歌》(原作・萩原朔太郎) 2016年 作家蔵



【図8】萩原恭次郎『死刑宣告』（再版）1926年 長隆舎書店 前橋文学館蔵 ©Kigure Shinya



【図9】福田尚代《冬眠》 2007年 本に刺繍 うらわ美術館蔵

関連イベント

① TOLTA×アーツ前橋×市立前橋高校 ワークショップ

河野聡子、佐次田哲、関口文子、山田亮太の4名からなるヴァーバル・アート・ユニット、TOLTAのメンバーが「書く」「話す」「記録する」をテーマとした3日間のワークショップを市立前橋高校の生徒とともに開催します。ワークショップの間に録音された音声や成果が展示作品の一部となります。

1日目：8月17日(木) 9:30~12:30 アーツ前橋 1F スタジオ

2日目：8月18日(金) 9:30~12:30 アーツ前橋 1F スタジオ

3日目：8月19日(土) 9:30~12:30 アーツ前橋 2F 会議室

② 三館共同企画 荒井良二と作る展覧会！

前橋市立図書館、前橋文学館、アーツ前橋の三館共同企画としてワークショップを開催します。荒井良二と一緒に作品を制作し、本展に参加してみませんか！作品は、本展会期中にアーツ前橋と前橋文学館にて展示されます。

日時：9月30日(土) 11:00~16:00

10月1日(日) 11:00~16:00

会場：アーツ前橋

対象：両日とも参加できる小学3年生~6年生

定員：30名

参加費：無料

申込み：先着順。9月8日(金)~9月25日(月)の11時~19時にアーツ前橋へ電話(Tel. 027-230-1144)

③ ヒックリコ ガックリコ トーク

なぜ今「ことば」について考えるのか。現代における言葉の問題について、展覧会参加作家や文学／言葉の専門家を招いたトークイベントを開催します。

日時：10月21日(土)

【第一部 14:30~16:00】

平川克美(文筆家、思想家)×文月悠光(本展参加作家、詩人)×萩原朔美(前橋文学館館長)

【第二部 16:30~18:00】

名児耶明(五島美術館副館長)×鈴木ヒラク(本展参加作家)×住友文彦(アーツ前橋館長)

会場：前橋文学館 3階ホール

参加費：無料

定員：100名

申込み：前橋文学館へ電話(Tel. 027-235-8011)

④ 今日の原稿用紙-TOLTAによるツアー型ワークショップ

ガイドにそって前橋の街を歩き、その体験をもとに一篇の詩を作ります。

日時：10月22日(日) 14:00～

集合場所：アーツ前橋 1階総合案内

持ち物：時計(携帯電話でも可)

参加費：無料(要観覧券)

対象：高校生以上

定員：20名

申込み：アーツ前橋へ電話(Tel.027-230-1144)

⑤ ムットーニ からくりミニシアター 上演とトーク

日時：11月4日(土) 14:00～

会場：前橋文学館 3階ホール

出演：ムットーニ(武藤政彦)

参加費：無料(要観覧券)

定員：80名

申込み：前橋文学館へ電話(Tel.027-235-8011)

⑥ 三角みづ紀 詩のワークショップ

日時：11月11日(土) 14:00～

会場：前橋文学館 4階研修室

講師：三角みづ紀(詩人、第22回萩原朔太郎賞受賞)

参加費：無料

定員：25名

申込み：前橋文学館へ電話(Tel.027-235-8011)

⑦ 山川冬樹 パフォーマンス

日時：12月2日(土)

① 14:00～15:30 パフォーマンス

② 16:00～17:30 山川冬樹×今井朋(本展担当学芸員) 対談

会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

参加費：無料(要観覧券)

※申込み不要

⑧ かくとはなす

本展参加作家の鈴木ヒラクのライブパフォーマンスと今福龍太との対談を開催します。

日 時：12月9日(土)

① 14:00~14:30 ドローイングパフォーマンス

② 14:45~16:15 今福龍太(文化人類学者)×鈴木ヒラク 対談

会 場：アーツ前橋地下ギャラリー(パフォーマンス)、アーツ前橋スタジオ(対談)

参加費：無料(要観覧券)

定 員：50名(対談のみ)

申込み：対談のみ事前予約制、アーツ前橋へ電話(Tel. 027-230-1144)

⑨ 学芸員によるギャラリーツアー

① 11月18日(土) 13:30~(前橋文学館)、15:00~(アーツ前橋)

② 12月10日(日) 13:30~(アーツ前橋)、15:00~(前橋文学館)

③ 1月13日(土) 13:30~(前橋文学館)、15:00~(アーツ前橋)

※申込み不要(観覧券をご購入のうえ、アーツ前橋1階総合受付又は前橋文学館2階展示室にお集まりください)

⑩ こどもアート探検

日 時：11月26日(日) 14:00~

会 場：アーツ前橋 ギャラリー

対 象：小学生以下(未就学児は保護者同伴)

※申込み不要

⑪ ヒツクリコ ガツクリコ街なか回遊プロジェクト

○千代田通りフラッグプロジェクト

アーツ前橋と前橋文学館をつなぐ約400mの千代田通りを中心に、参加作家のManiackers Designがデザインしたオリジナルのフラッグを掲出します。

○前橋ことばの学校 詩のまちから言葉のまちへ

芽部*がトークイベント、読み聞かせ、ワークショップ、詩作講座、演奏会、オープンマイク等さまざまな言葉にまつわるイベントを開催。芽部が発行する「出席簿」を持って、週末などに街なかで行われるイベントに参加するとオリジナル修了証とグッズがもらえます。

※アーツ前橋の開館前に行われたイベント・アートスクールBコースの受講生を母体に2011年8月に発足。

※イベント詳細については芽部公式サイト(<http://mebu-maebashi.com/>)又は、「前橋ことばの学校」チラシをご覧ください。

○荒井良二を巡る旅

前橋の街なかには参加作家の荒井良二の作品がいくつあるかを知っていますか?地図を片手に、荒井さんの作品を楽しみながら前橋を巡る旅に出かけてみてください。

プレスプレビュー

日時：10月19日(木) 14:00~19:00(※最終入場は18:30まで)

会場：アーツ前橋、前橋文学館

※一部のアーティストが立ち会うプレス向け作品解説会は、14:30からアーツ前橋、前橋文学館の順で実施します。(立会い予定作家：鈴木ヒラク、ミヤギフトシほか)

出版物

本展覧会にあわせ、コンセプトブックを出版します。

発行：左右社

定価：2200円+税

部数：1600部

仕様：A5変形、256頁

デザイン：大原大次郎

執筆者：石川九楊／今井朋／王舟／温又柔／栗本高行／鈴木ヒラク／住友文彦／瀬戸夏子／
建島哲／谷川渥／萩原朔美／平川克美／文月悠光／ミヤギフトシ／山本浩貴

※五十音順

発行日：10月末、左右社より全国発売

平成 29 年度 あ一つひろば

アーツ前橋でアートを鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストやアーツ前橋サポーターと一緒に活動したり「ひろば」のように色々な体験ができるイベントプログラム。展覧会やシーズンイベントと連動した内容を設定し、主に隣接施設を利用する小学校低学年以下の子どもとその保護者を対象に、アーツ前橋に足を運び、気軽に参加できるプログラムを実施。今年度は、新たな取り組みとして親子連れ等の集客施設へ出張を行い、新たな来館者の獲得を目指す。

□主催：前橋まちなか文化祭実行委員会・アーツ前橋

□助成：文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

■実施報告

第 1 回 天の川の魔女をつくろう！ほか



日時：2017年6月25日(土)13時から17時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ、交流スペース

講師：寺村サチコ(アーティスト)

広報物：チラシ A4 判 1,000 部

内容：アーティストの寺村サチコによるワークショップでは、織姫と彦星を邪魔する「天の川の魔女」と「魔女をつかまえるためのエサ」を親子やサポーターらと制作し、アーツ前橋外壁と交流スペースに7/6～7/30 展示した。また、小学生以下の鑑賞ツアー「こどもアート探検」や工作のプログラムをサポーターと実施した。

参加人数：25 人(13-16 時、寺村サチコワークショップ、事前予約制)

130 人(13-17 時、交流スペース)

第 2 回 ウマくなくてもいいスタジオほか



日時：2017年8月19日(日)13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース、スタジオ

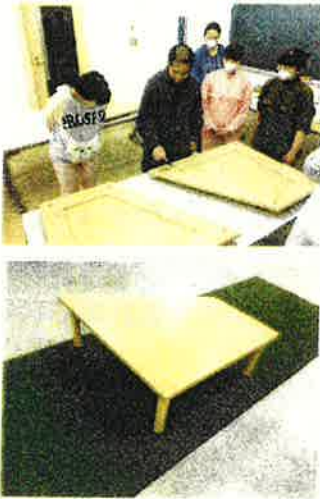
広報物：チラシ A4 版 1,000 部

内容：隣接施設や中心商店街で前橋商工会議所が実施している親子向けのイベント「夏休みキッズフェスタ」に合わせて開催(展覧会観覧無料デー)。同イベントが市内小中全校生徒に配布したチラシに情報を掲載し、スタンプラリーのスポットに設定されたため、呼び込みに行かずとも自然と人が流れてきた。普段から行っている工作のプログラムや鑑賞ツアーのほかに、展覧会に出品されている工芸作品をヒントに粘土を使った鑑賞のプログラムをサポーターとスタッフで実施した。

参加人数：184 人



■交流スペースで使用しているテーブルとクッションについて（平成 28 年度下半期の報告）



①テーブルの制作

概要：あ一つひろばを 2 カ年実施した結果を踏まえて、群馬大学で美術教育を学ぶ学生のデザインの授業課題として空間のデザインと制作を依頼した。試作を実際の現場で使用し、サポーターやスタッフらにプレゼンを行い、改良点等を検証し完成。天板が台形のテーブル 12 台は、交流スペースでワークショップの内容に合わせて組み合わせることができる。3 月 25 日のあ一つひろばで使用を開始し、敷物の人工芝と合わせて、統一感がありながらも親しみやすい空間を演出し、参加者も落ち着いて制作に取り組むことができている。

日時：2016 年 10 月 4 日（火）から 2017 年 2 月 26 日（木）まで

会場：アーツ前橋交流スペース、群馬大学

監修：齋江貴志（群馬大学教育学部美術教育講座准教授）

参加人数：「デザイン実習 C」履修学生 6 人、サポーターのべ 6 人



②クッションの制作

概要：テーブルの完成を受けて、もともとのデザインプランにあった小さい子どもでもテーブルの上で制作しやすいよう、高さ調整のクッションを制作。3 月のあ一つひろば「織りをしてみよう」で、布を参加者が交替しながら機織りし、出来上がった 15m の布はサポーターらと縫製。15 個のクッションは 6 月 25 日のあ一つひろばで使用を開始した。

日時：2017 年 3 月 25 日（土）から 5 月 28 日（日）まで

会場：アーツ前橋交流スペース、サポーター室

講師：鈴木順子（障害者支援施設 赤城野荘 生活支援員）

織り：3/25 あ一つひろば参加者、赤城野荘利用者、アーツ前橋サポーター

クッション縫製：アーツ前橋サポーター

■今後の実施予定（出張プログラム）

①親子の集客施設での出張プログラム：前橋市児童文化センターとの共同企画

親子連れが多く訪れる前橋市児童文化センターへ出張し、ことばをテーマにした秋の企画展に連動して製本を体験するプログラムを実施。制作した作品はアーツ前橋と前橋市児童文化センターで展示する。

(1)紙を染める（11/18、全年齢対象、児童文化センター）、(2)染めた紙を使って本をつくる（11/23、小 1～中 3 対象、児童文化センター）、(3)作られた紙や本を参考にして更に複雑な本をつくる（11/26、小 1～一般対象、アーツ前橋）など、会場と対象を変えながら素材や作品が交流するようなプログラムとなる予定。

講師：三上愛（染色造形作家）

広報：チラシ A4 版 1,000 部、児童文化センター広報紙「わくわくキッズ」（市内小中学校全校生徒配布）、

広報まえばし 10/1 号

②ティーン層を対象とした出張プログラム

春休みに商業施設を会場に実施し、アーツ前橋に個別の来館の少ないティーン層へのアプローチを試みる。

【1】アーティスト・イン・スクール実施計画

(1) 概要

アーティストを学校へ派遣して授業やワークショップ等を行う事業。前年度パイロット事業として小学校と高校で実施したが、空き教室滞在型や部活との連携や学校の種類を変えるなどしてテストケースを引き続き作り、継続的な事業の在り方を検討していく。事業実施に当たっては前橋市教育委員会と調整しながら進めるほか、NPO 法人まえばしプロジェクトがコーディネートを行い、当該 NPO のもつ美術教育の専門性やネットワークを活かしながら事業を実施する。

(2) 今年度の実施予定内容

① 住中浩史×前橋市立第六中学校

日程：2017 年 10 月 12 日（木）～31 日（火）

内容：学校の余裕教室にアーティストが滞在。学校の中に新たなコミュニティスペース・表現の場など様々な可能性を生む「空間(場)」を、美術部の生徒たちを中心にアーティストが一緒になって作る「アーツ六中プロジェクト(仮)」を実施。滞在最終日の 31 日は中学校の学習発表会であり、プロジェクトのお披露目も兼ねる予定。

プロフィール：住中浩史（すみなか・ひろし）

1977 年生まれ、広島県広島市出身。明治大学商学科商学部卒業。地域『で』 アートを行うのではなく、その地域『の』 アートとはなにかを絶えず模索しながら、制作・行為・会話の中で実践を重ねている。近年は、表現の専門家のためでない『場』づくりをメインに活動。色々な人が『何かしたくなる』アフオーダンスのある『場』と『出来事』を創出し、その『場』が時間をかけて使われていく中で、小さくとも新しい地域の文化が生まれることを目指している。

② 山川冬樹×前橋市内の中学校（調整中）

日程：12 月 15 日（金）を予定

内容：アーツ前橋企画展「ヒツクリコ ガツクリコ ことばのうまれる場所」の出展作家の身体パフォーマンスを鑑賞したり体験したりすることを通して、感覚をひらき、アーティストの表現を身近に感じることを目指す。また、展覧会会期中に実施することで、展覧会への来館（インリーチ）のきっかけとする。

プロフィール：山川冬樹（やまかわ・ふゆき）

1973 年ロンドン生まれ。トウバ共和国に伝わる超絶的な歌唱法、ホームメイの歌い手として活動をスタート。電子聴診器を用いて心臓の鼓動や速度の強さを意図的に制御し音と光に還元するパフォーマンスや、頭蓋骨の共鳴を骨伝導マイクによって増幅するパフォーマンスで、都内のノイズ/即興シーンから国内外のフェスティバルを渡り歩く。自らが口にする「パ」という音節の所有権を 100 万円で販売する『「パ」日誌メント』（2011 年-現在）などを発表。

③ 中島佑太×桃川小学校

日程：10 月以降実施

内容：平成 28 年度の表現の森の継続事業として、本年度は南橋地区が校区に含まれる桃川小学校の 3・5 年生の図工の授業に参加する。※表現の森継続事業予算で実施

プロフィール：中島佑太（なかじま・ゆうた）

1985 年群馬県前橋市生まれ、2008 年東京藝術大学美術学部卒業。幼少期を南橋団地で過ごし、ワークショップを手法に活動するアーティスト。2012 年より、清心幼稚園（前橋）で子どもたちとアートを通じて遊んだり蹴られたりする活動しながら、国内外でワークショップを展開している。

今年度は協力校と実施するため実施校の公募は行わないが、次年度以降への活動へとつなげるため、教員への周知を図る事業を教育委員会と調整して行う。

① 小学校図工実技研修会（報告）



日時：7月27日（木）8：50～11：50

講師：幸田千依（アーティスト）

参加者：小学校の教員 20人

内容：前橋市教育委員会主催の小学校教員対象の研修会にて、アーティスト・イン・スクールをテーマに実施。教育委員会より絵画制作をしている作家の希望があったため、アーツ前橋の滞在制作事業参加作家である幸田千依氏に依頼。幸田氏が熊本の中学校で行ったワークショップを実施した後、自身の作品コンセプトを作品スライドとともに紹介し、意見交換を行った。先生のための無料招待ウィーク期間中でもあったため、アーツ前橋の展覧会も学芸員の解説付きで希望者は鑑賞した。

② 事業報告・記録映像作成

事業内容を紹介する映像記録と報告リーフレットを作成し、次年度以降の広報に活用する。

【2】先生のための無料招待ウィーク

(1) 概要

多くの児童・生徒に文化芸術やアーツ前橋に親しんでもらうためには、現場の先生方の理解と支援が必要であるため、教職員の来館促進を目的に実施するもの。校外学習等の団体来館の下見や、日々の授業づくりに役立ててもらおう。また利用者にはアンケートを実施。

(2) 対象

幼稚園～大学の教員

*主なターゲットは市内教員だが、地域、専科(科目)に関わらず受け入れ可

(3) 今年度の無料招待実施期間

①「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」

7月22日(土)～8月6日(日) … 利用数20人

②「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」

10月21日(土)～11月5日(日)

前橋めぶくフェス アート部門

1 経過

2014年より毎年開催してきた「前橋まちなか文化祭（通称：まちフェス）」は、文化芸術活動を行う団体を対象とした公募型の文化祭として、これまでに延べ50団体という大変多くの団体が参加しています。今年度より、対外的な発信力や更なるクオリティの向上を目的とし、新たに「前橋めぶくフェス」の「アート部門」という位置づけで実施します。

2 事業目的

前橋のビジョンである「めぶく。」を体現すべく、地域資源や、地域の人材のポテンシャルを最大限活かすことで、中心市街地の集客力を向上させ継続的なにぎわいを創出する。

3 開催概要

名称：前橋めぶくフェス
主催：前橋めぶくフェス実行委員会
日時：11月3日（金・祝） 17:00～21:00
11月4日（土） 11:00～20:00
11月5日（日） 11:00～17:00
会場：前橋中心市街地各所

4 参加団体（企画）

音楽演奏、演劇公演、作品展示、トーク、上映会等の芸術文化活動を実施する団体を公募した結果、25団体の応募があり、19の事業が採択。

※詳細別表

5 同時開催事業

① フィジカルセンセーション

主催：身体芸術推進実行委員会
日時：11月4日（土）11:00～20:00
11月5日（日）11:00～17:00

出演者：大道芸パフォーマー、沢入サーカス学校卒業生・在校生、前橋商業高校吹奏楽部
場所：中央イベント広場ステージ、中央通り商店街、銀座通りなど
内容：吹奏楽の演奏、サーカスなどに出演するパフォーマーのステージを行う。

② 駅家ノ木馬祭

主 催：駅家ノ木馬祭実行委員会

日 時：11月5日 11:00～/13:00～

場 所：弁天通り商店街、中央通り商店街など

内 容：2011年より開催を続けるアーティスト白川昌生が創作した物語をもとにした祭りを開催。

参考

前橋めぶくフェス（2017年6月25日実施）について

会場：中央イベント広場と中央通りアーケード

部門：「フード」「クラフト」「アート」の3部門で構成。

出店者：「フード」32組、「クラフト」11組、「アート」3組、商店街から7店舗

特徴的な内容：「ギブミーベジタブル」、「100人ディナー」

当日来訪者数集計：13,020人（にぎわい商業課集計）

資料 2

めぶくフェスアート部門 参加団体一覧

No	団体名	事業名	会場(予定含む)
1	ちょこ工房	アートのマインドを育てるワークショップ「八木さんとアートを楽しもう(仮)」	map 前橋市千代田町2-12-7
2	Suger rich	Resound"a little spice in your life"(仮)	丸山ビル 前橋市千代田町5丁目/-11
3	ぐんまアイデアソン・ハッカソン2017実行委員会	ぐんまアイデアソン・ハッカソン2017	【予定】まちなかサロン 前橋市千代田町2丁目11-1
4	ya-gins	ya-gins vol.24 伊藤存	前橋市千代田町3-9-2
5	芽部	前橋ネコフェス 2017	前橋市荒牧町3-5-18
6	ハラサワコレクション	ハラサワコレクションvol.6「明治生まれの群馬の画家店II」	広瀬川美術館
7	前橋むーびー部	めぶく。一日映画祭	シネマ前橋
8	上州文化ラボ	音楽で振り返る いとのまち 前橋	ロブソンコーヒーアーツ前橋店
9	MAEBASHI COLLECTION	MAEBASHI COLLECTION 2017	スズキストアから中央広場
10	Lively	心に伝える朗読コンサート(仮)	煥乎堂ホール
11	Mouthfeel of R	Mouthfeel of R	ロブソンコーヒーアーツ前橋店
12	Catur Swari	バリ・ガムラン演奏グループ"スカル・ジュプン"の招へい及びインドネシア・バリ島の伝統音楽・舞踏の発表	煥乎堂5Fホール
13	有限会社 黒田人形展	レジョ エミリアにつながるイタリアの芸術教育を学ぼう 「だれでもみんなアーティスト」	まちなかサロン
14	山賀ざくろ企画	アートと音楽とダンスのセッションライブ「カザンガボルケーノ」	前橋市芸術文化れんが蔵
15	Maebashi Works	Maebashi Works Opem Studio 2017 「コトバの身振り(仮)」	Maebashi Works
16	白い人たち	前橋めぶくフェスにおける身体表現を用いた地域の活性化j-resonance-	前橋中央商店街、十字路付近
17	ギャラリーアートスープ	①めぶくライブペインティング ②めぶく壁画制作会 ③ティーパッケージデザインコンテスト ④ハンドクラフトワークショップ ⑤Kuroyan個展	①ギャラリーアートスープ ②BENIFUKU丸十ペーカリーの間の白い壁 ③アートスープ、ティーストア④まちなか音楽館 ⑤アートスープ
18	スタジオマルコ	つくってあそぶ、音楽界の開催	まちなかさん
19	舞踏団 トンデ空静	ジャンボ・カナシミ・ジャンボ	前橋中央通り、弁天通り、オリオン通り、銀座通り